



※今月のテーマは「体について知ろう」です。

緊急事態宣言も終わり、子どもたちが楽しみにしていた発表会も開催することができ、子どもたちのこれまでの成長を感じられたと思います！そして、少しずつ季節も変わり、肌寒くなってきます♪さて今回は「体について知ろう(5感の働き)、内臓の働きについて知り、健康に過ごしていきましょう!!

☆5感とは

動物や人が外界を感知するための多種類の感覚機能のうち、古来の分類による5種類、すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚をさす。この伝統的な分類を前提として、人間の感覚全体をさすために「五感」という表現が用いられる場合もある。

☆視覚(目の働き)

目で見たものから情報を得ることができ、子どもの視力は生まれてから約6~7年かけて物を見ることによって発達します。

★聴覚(耳の働き)

賑やかな場所でも、特定の人の言葉に集中して聞き分けることができる能力を持っています。

★嗅覚(鼻の働き)

鼻には呼吸を助ける働きの他に匂いを感じる事で、食べ物がかうまいと感じることができます。

☆味覚(口の働き)

口には食べる、言葉を話す、呼吸を助けるなどの働きがあります。味覚には日々の食事で育まれます。

★触覚(皮膚の働き)

寒い・暑い・かゆみ・痛みを感じる事ができます。芝生や土の上に寝転がったり、動物などを触ったりする事で育まれます。

五感を育むためのおすすめのあそび♪(感触遊び)

片栗粉粘土遊び

・片栗粉(一人当たり 150~200グラム程度) ・水(粒と同量が目安)

- ①粉に水を入れるときに「魔法の水を持ってきたよ～」と言葉がけをして混ぜると、子どもたちは興味津々になります。
- ②片栗粉がサラサラからトロトロになると子どもたちはさらに不思議になるでしょう。
- ③水を入れる前の粉の状態のサラサラしている感触から、水を入れた後のトロトロした感触、握りしめたときの感触を体験させてあげましょう。
スプーンですくって遊ぶのも楽しい！

※小麦粉アレルギーなどのアレルギー物質がないか確認してから行いましょう！！